

2026 年 2 月 2 日

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

開始日時	2026 年 2 月 2 日 (月)	18 時 00 分
終了日時	2026 年 2 月 2 日 (月)	19 時 40 分
名称	第 157 回 CPD 千葉県内技術士会 4 団体合同勉強会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部他	
開催場所	ホテルプラザ菜の花「3F 菜の花」、及び ZOOM によるハイブリッド講演	
行事内容	講演 1 : 「3D・AI・デジタルツインで変わるインフラ DX の現在地とこれから」 千葉県 県土整備部 インフラ DX アドバイザー・株式会社 Play Life Studio 代表取締役 清水 啓太郎 様 講演 2 : 「三島ダムの洪水吐改修における施工時の対応について」 千葉県 農林水産部 農林水産政策課 主査 並木 隆幸 様	
参加人数	全体 72 名 内千葉県支部 26 名 (会場 7 名、ZOOM 19 名)	
<p>千葉県庁技術士会が事務局となり、千葉県内技術士会 4 団体 (千葉県庁技術士会、船橋市役所技術士会、千葉工大技術士会及び日本技術士会千葉県支部) の合同勉強会が開催されました。</p> <p>講演 1 : 「3D・AI・デジタルツインで変わるインフラ DX の現在地とこれから」 概要は、講師が関与されている国土交通省が進める BIM/CIM や PLATEAU などの 3D 都市モデル整備プロジェクト、AI 技術の活用を切り口に、建築・土木分野におけるインフラ DX の最新動向について、アニメ風に、またアバターを自在に操って多くのまちづくりや観光分野への展開の可能性を、また、現場や行政業務にどのような変化が生まれつつあるのかなど具体的な事例を交えて紹介いただきました。</p> <p>あわせて、技術導入そのものではなく、「DX の考え方をどう現場に根付かせていくか」という視点についても、世界で後れを取っている日本の現状に危機感を持っておられました。さらに、技術者として大切なことは、「好奇心のおもむくまま技術を常に更新し、社会的価値を考えながら”使える・使われる・使い続けられる技術”として実装すること」それが我が国の国際競争力を確保するために不可欠だと若き DX アドバイザーの至言でした。</p> <p>講演 2 : 「三島ダムの洪水吐改修における施工時の対応について」 概要は、二級河川小糸川上流に位置する農業用アースダム「三島ダム」の洪水吐 側水路の漏水を受け実施した改修工事について、設計方針と施工時の課題と対応、岩盤検査など、設計時との相違点の把握、その対策の事例を細かく紹介いただきました。整備効果の検証など、今後の農業用水のあり方に係る長期的な取り組みにつながるご講演でした。</p> <p>今回の 2 講演は、建築・土木のインフラ DX により国内の国際競争力の推進と地域の安全とまちづくり及び農業分野に関わる千葉県が抱える課題と長期的な整備の方向について大変わかりやすくご講演いただきました。ここにご講演いただきました講師様に感謝申し上げます。</p>		



講演風景



清水啓太郎講師



並木隆幸講師